

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. GGA2 V5 900
取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation
株式会社オートエクゼ
〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輛に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種:GG3S アテンザ L3(2.3L)

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ株発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

ノーマルクリーナーの取外し

1:エアフロセンサーのカプラーを外します。

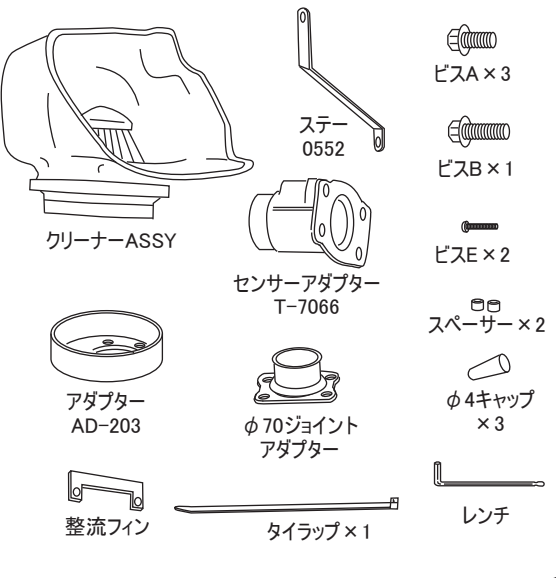
2:エンジンカバーを外し、ノーマルケースに配管されているφ4ホースをスロットル付近のワンウェイバルブ部から抜き取り、付属φ4キャップで塞いで下さい。
同時にケース横に付いているソレノイドバルブを取外します。
ホースを抜き取り、代わりに付属φ4キャップで塞いで右下の方にタイラップで止めて下さい。

3:ノーマルクリーナーケースASSYをエアフロセンサーごと取り外します。

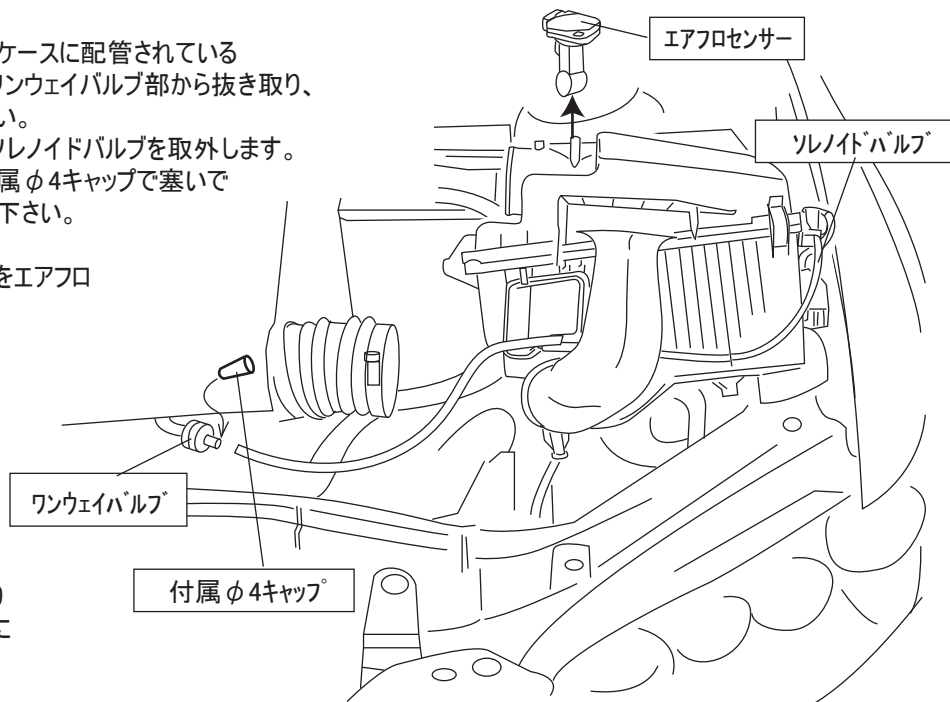
4:クリーナーケースに付いているエアフロセンサーを取り外します。

注意:エアフロセンサーを落としたりキズをつけないように取扱いには注意して下さい。

PARTS LIST



※ラムエアインテークASSYにフィルター、ロアケース、Vクランプ、ロアクランプ、アダプターはセットした状態で包装されています



ラムエアインテークシステムの取り付け

注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。

1:アダプターに整流フィン、ジョイントアダプター、センサーアダプター、ステーを付属ビスを使用して図の様に組み立てます。

2:センサーアダプターにエアフロセンサーを取付けます。
(固定は付属スペーサーを挟みビスEで固定)

3:「1」で組付けたアダプターASSYを一度ノーマルインテークホースに取り付けます。
ステーをボディ(右下図矢印部)に仮固定し、ステーの位置決めを行います。

4:アダプターにクリーナーASSYを組み付けてから、インテークホースに取り付けます。最後にステーをボディに固定します。

5:エアフロメーターのカプラーを取り付けます。

各部緩みがないよう増し締めします。
また、必ず定期的な増し締め点検を行なって下さい。

※ボンネット裏のウェザーストリップをカットして取り外すと効果的なラム圧効果が得られます。
(ヘッドライト上部付近)下図参照
但し、豪雨時の全開走行は避け下さい。

